

SCARTS×CoSTEP Art & Science Project

永田康祐

Kosuke Nagata: *Mining the Wind*

風

を

2026.7.10 (金) - 20 (月・祝) 10:00-17:00

札幌文化芸術交流センター SCARTS
SCARTSビル1F、モジュールA・B (札幌市民交流プラザ1F)

入場無料

掘る



札幌文化芸術交流センター
SCARTS

SAPPORO CULTURAL ARTS COMMUNITY CENTER



Unit for Communication
in Science and Technology
Education Program

主催：札幌文化芸術交流センター SCARTS (札幌市芸術文化財団)、北海道大学 CoSTEP 後援：札幌市、札幌市教育委員会



札幌文化芸術交流センター SCARTSと北海道大学CoSTEPが協働し、アートと科学の相互交流により若い世代の探究心を育み、世界をひろげる学びの場をつくるプロジェクトの成果発表展です。

招聘アーティストの永田康祐は、今回のテーマ「リジェネラティブ※」をきっかけに再生可能エネルギーに関心を寄せ、道内各地でリサーチを行いました。その過程で得た新たな視点や価値を、来場者とともに体験する展示会を開催します。

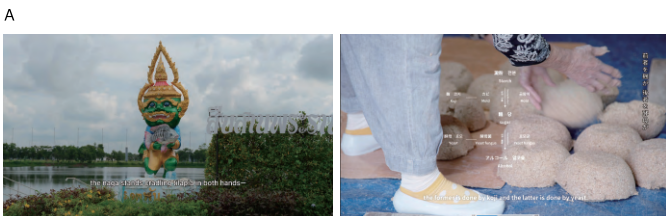
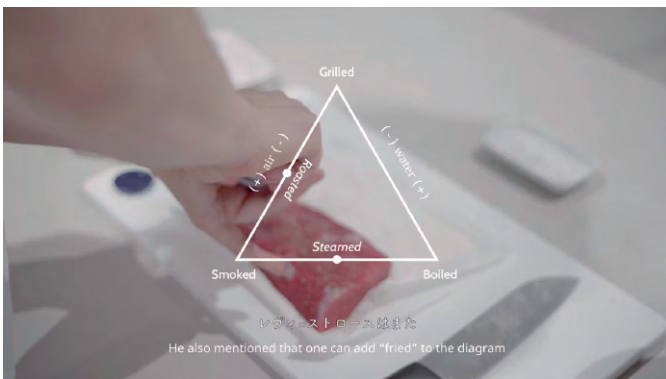
※リジェネラティブとは|人間の環境への介入を通じて、自然が本来持つ再生力を引き出し、環境を積極的に回復させていこうという考え方。この考えは、農業や漁業、林業といった一次産業を中心に広がっており、土壌の健全性の保全や水質の改善、生物多様性の向上などを目的に、各分野で研究が進められています。

永田康祐の探究

北海道では近年、風力発電をはじめとする再生可能エネルギーの導入が進む一方、AIや情報産業の発展を背景に、データセンターによる膨大な電力消費も拡大しています。永田康祐は、「リジェネラティブ」を出発点に、風力発電の風景やエネルギー生産の現場に注目しながら、消費と生産、都市と地方、経済活動と環境保護といった関係性をリサーチ。情報社会を支えるエネルギーのあり方と、その背後にある現代社会の構造を映像作品として提示します。

永田康祐 | Kosuke Nagata

1990年愛知県生まれ、神奈川県を拠点に活動。自己と他者、自然と文化、身体と環境といった近代的な思考を支える二項対立、またそこに潜む曖昧さに関心をもち、写真や映像、インスタレーションなどを制作している。近年は、食文化におけるナショナル・アイデンティティの形成や、食事作法における身体技法や権力関係、食料生産における動植物の生の管理といった問題についてビデオエッセイやコース料理形式のパフォーマンスを発表している。主な個展に「イート」(gallery aM、東京、2020)、グループ展に「見るは触れる日本の新進作家 vol. 19」(東京都写真美術館、2022)、あいちトリエンナーレ(愛知県美術館、2019)など。



A. Purée, 2020 B. Fish of Empire, 2025 C. Fire in Water, 2025(参考:すべて永田康祐 過去作品より)

[関連イベント]

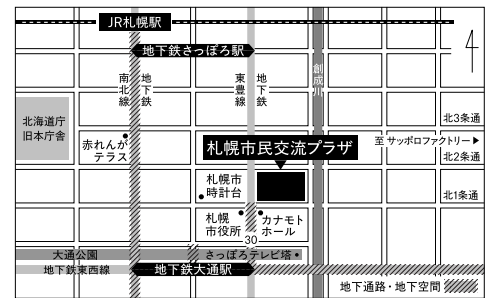
アーティストトーク

日時:7月12日(日)
10:30~12:00
場所:SCARTSモールC
登壇者:永田康祐 ほか

ワークショップ

「Letter to F
~未来のエネルギーへの手紙~」
日時:7月12日(日)
13:00~15:00
場所:SCARTSモールC
企画:北海道大学CoSTEP
申込:要事前申込、詳細は下記
QRコードよりご確認ください

[ACCESS]



- ・札幌市営地下鉄東西線、南北線、東豊線「大通」駅30番出口から西2丁目地下歩道より直結
- ・JR「札幌」駅南口から徒歩約20分
- ・駐車場は当館地下ほか近郊の有料駐車場をご利用ください。

[問い合わせ]

札幌文化芸術交流センター SCARTS
札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市民交流プラザ 2F
TEL:011-271-1955(9:00~17:00※休館日を除く)

